

令和元年度 第4回奄美市中小企業振興会議 議事概要

日 時 令和元年 11 月 13 日（水）14:30～

場 所 奄美市役所 6 階 中会議室

出席委員 奄美市建友会，奄美情報通信協同組合，（一社）奄美自動車連合会
名瀬青果食品協同組合，独立行政法人奄美群島振興開発基金
鹿児島県社交飲食生活衛生協同組合奄美支部，（一社）あまみ大島観光物産連盟
奄美大島商工会議所，あまみ商工会，鹿児島県大島支庁総務企画課
奄美市商工観光部長

オブザーバー （株）グリーンストア，（株）ゆめカード，（株）しまバス

<会次第>

1. 開会あいさつ（会長）
2. 議事
 - ① キャリアアップ助成制度について（情報労政係）
 - ② 事例報告：株式会社グリーンストア
「あまみカード」によるキャッシュレス推進と地域通貨的展開について
3. 意見交換
4. その他

<議事概要>

○ 開会あいさつ（会長）

お忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。地域の中小企業振興に向けて、皆さまの積極的な議論をお願いしたい。

○ 議事①キャリアアップ助成制度について

（商工情報課情報労政係説明）

- ・ キャリアアップ制度（人材育成事業）助成金のご案内
- ・ 令和元年度あまみ JOB フェア～合同企業説明会&面接会～
- ・ 外国人おもてなし大作戦 in 奄美
- ・ 雇用者確保・従業員のスキルアップ支援事業

（質疑）

- ・ 日本は、外国人労働者が働きたくない国ランキングの最下位と報道されている。外国人労働者の働きやすい環境の整備も課題。
- ・ 各事業の実績について

→情報労政係が報告

○ 議事②事例報告：株式会社グリーンストア

「あまみカード」によるキャッシュレス推進と地域通貨的展開について

(事務局説明)

- ・ 前回の会議において、■ 異業種連携による新たなモノ及びサービスの創出、■ 島外に依存しているモノ及びサービスの供給を地域内で経済循環できる仕組みの構築という2点が、今後の課題として挙げられた。
- ・ 新聞報道等から、あまみカードの普及が、そうした課題解決につながる可能性がある取り組みと考え、事務局から今回の事例報告を依頼した。
- ・ 現時点では、奄美市として「あまみカード」を個別に支援する事業等を検討している訳ではない。

(グリーンストア説明)

- ・ あまみカードの誕生と普及（事務軽減による人材不足への対応等）
- ・ 加盟店拡大の取り組み（キャッシュレス消費者還元事業の加盟店支援事業者として国登録）
- ・ 路線バスへの運用（現場検証から始め、費用試算、プロモーションなど総合的マーケティング戦略が必要）
- ・ 今後のあまみカード（奄美のための「地域カード」という地位をめざす）

(ゆめカード説明)

- ・ 会社概要
- ・ あまみカードの概要
- ・ 新たなサービスの提案（交通対応、見守り事業、地域振興券など）

(しまバスコメント)

- ・ 現在は現金決済のみであり、キャッシュレスが課題であるのは間違いない。料金がバラバラな多区間で決済する難しさもあり、設備投資のコストも大きな障害となる。インバウンド対策等を含め、様々なサービスを検証している段階。

(質疑)

- ・ チャージの限度額について
→ 限度額の設定は変更可能
- ・ 利用者情報について
→ ID（住所、氏名、生年月日など）と任意でメールアドレス
- ・ 加盟店の手数料について
→ 現状 2.6%が 1/3 補助で 1.8%。クレジットカードは 5~10%。月末の翌月末払い。最大月 6 回精算。手数料で加盟店の宣伝も行う。
- ・ 預託金について
→ 資金決済法により、未使用残高が 1,000 万円を超えた場合、1/2 の額を供託している。
- ・ 将来的なスマホ決済への移行について
→ コード決済自体は技術的に難しくなく、移行の準備はできている。ただし、現状の顧客については、前払い方式の方が安心感があるようだ。
- ・ チャージ機の設置について
→ 今後、グリーンストア店舗以外にも設置していきたい。
- ・ 地元 IT 企業の関与について

→ 基幹システムは自社製であり関与は難しい。アプリ開発などにおける協力体制の可能性はある。

→ 既に地元の地域カード検討に参加している。技術的には地元でも可能。

○ 意見交換

- ・ 加盟店への登録方法について

→ 説明のため訪問させていただく。来年4月まで端末は無料だが、インターネット通信環境が必要な他、通信料と手数料がかかる。

- ・ 各事業分野の人材不足について

→ 建設関係は、自衛隊関連工事による人材不足と機械不足が深刻であったが、最近は一息ついた状況。2期工事が予定されており、同様の状況が懸念される。

→ 情報通信関係は、10月からの軽減税率対応策などの発注に追い付いていない状況。オリンピックの影響もあるのか、東京からの仕事の発注も増えている。

奄美情報処理専門学校が奨学金制度を活用するようになり、学生は少ない負担で技術を学ぶことができている。

→ 地域の中小企業は大手に押されて小さくなっている状況。青果食品関係は軽減税率の対象だが、関連経費などにおいて増税の影響は出ている。今回のお話にあったようなキャッシュレス対応の研究をしていきたい。

→ 先日のクルーズ船寄港時は、大勢の乗客が商店街に流れ込みランチ難民のような状況になった。世界自然遺産登録が迫る中、受入態勢の課題はホテルなどのハード面よりも人材面においてより深刻とみている。

→ 観光客満足度調査におけるバスへの不満が奄美大島観光の満足度を下げている。観光物産連盟としては、「奄美大島二次交通利便性改善事業」としてバス事業者と連携して対策のために動いている。

○ その他

(事務局説明)

- ・ 次回の会議においては、今回事例発表していただいた「あまみカード」の普及やバス決済への運用について経過報告をしたい。また、地域における異業種連携に関する他の事例も検討していく。